



本庁舎の建替えについて

令和2年1月23,24日

多治見市役所

本庁舎と駅北庁舎

本庁舎（日ノ出町）S 4 9～



議会・
総務部門・経済・環境・
建設部門・本庁事務所など

駅北庁舎（音羽町）H 2 7～



窓口部門（住民票・税・福祉・保険）
教育委員会・保健センター

市庁舎に求められるもの

1. 利便性

- i. これからの「まちづくり」を考え、都市機能をどこに置くか
- ii. 市内のどこからでも（誰でも）行きやすい場所

2. 防災拠点性 命と生活を守るため、迅速な復旧対応が必要

3. 経済性 建設や維持運営の費用を抑える

最終候補地を選定

- ➡ 駅北庁舎の隣接地
虎溪用水広場の西隣



新庁舎に移転するもの

- ➡ 現本庁舎の機能を移転し、
駅北庁舎と2棟で運営

現本庁舎



駅北庁舎



建替えの必要性

1. 老朽化

- i. 築45年（S49建築）が経過、**多額の修繕費**が必要となっていきます。
- ii. 部品がないため、**修理できない設備**もあります。

2. 耐震性能

必要な性能に届いておらず、改修工事も困難です。

老朽化

1. 空調設備の不良、
2. トイレ設備の不調、
3. 内外装の傷み（雨漏り等）
4. 配管の老朽化



老朽化

天井



雨漏り



老朽化

壁面

雨の吹込み



老朽化

落ちた天井



ロッカー



耐震性能

I s値	基準
0.90	災害応急対応施設 駅北庁舎
0.75	避難施設
<u>0.63</u>	<u>現本庁舎</u>
0.60	一般的な建物
0.31	耐震補強工事前

I s 値：耐震性能を示します

平成27年度に耐震補強工事を実施

I s 値 0.31 $\Rightarrow$ 0.63

多額の費用と時間をかけ、
使い勝手を犠牲にしても、

I s 値 0.75 が限界です

これまでの経緯

市庁舎将来構想【H23.7】

1. 建替え時期

財源確保の見通しがつき、一定の市民合意を得た後、建替え

2. 当面の耐震化・修繕

最低限必要な対応工事を実施（平成27年度）

3. 基金の設置

建設費用のための基金を設置（平成25年度）

20億円を目標として積立中です

駅北庁舎の建設

1. **笠原庁舎の老朽化**に伴う廃止
(教育委員会の移転先が必要)
2. **保健センターの老朽化**に伴う建替え
3. 公共公益施設用地 (現駅北庁舎敷地)



➡ 駅北庁舎の建設

市民サービスの向上、災害復旧拠点機能の確保

候補地の選定

	候補地	面積
1	駅北庁舎隣接地 (音羽町1丁目)	5,860m ² (敷地に虎溪用水広場を含む)
2	現本庁舎敷地 (日ノ出町2丁目)	9,870m ² (正面玄関前駐車場含む)

※全部で14箇所を検討し、2箇所に絞り込みました
＜検討した要素＞利便性、面積、土地取得費用など

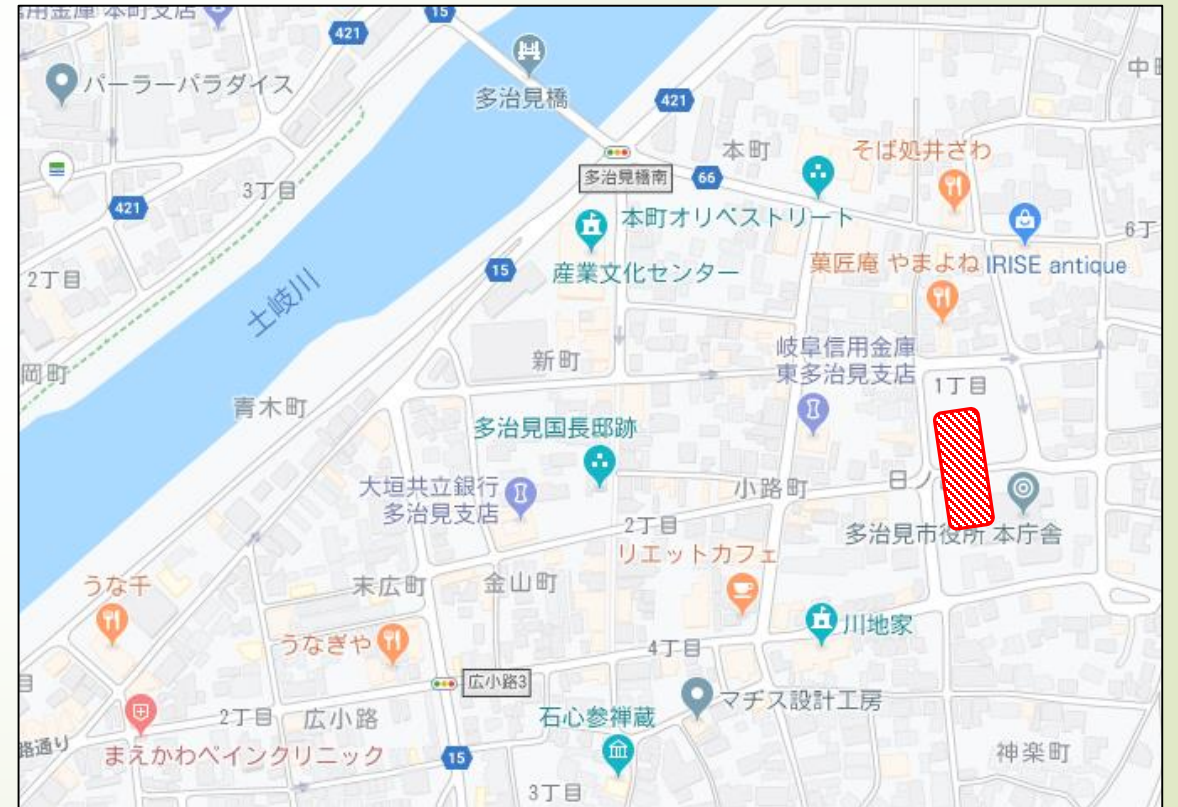
候補地

駅北庁舎隣接地（音羽町1丁目）



候補地

現本庁舎敷地（日ノ出町2丁目）



評価

➡ 利便性（50点）

都市計画（まちづくり）との関係
公共交通機関、車でのアクセス
他の官公庁署との関係
駐車場の確保

➡ 防災拠点性（20点）

災害時の庁舎へのアクセス
機能性、安全性

➡ 経済性（30点）

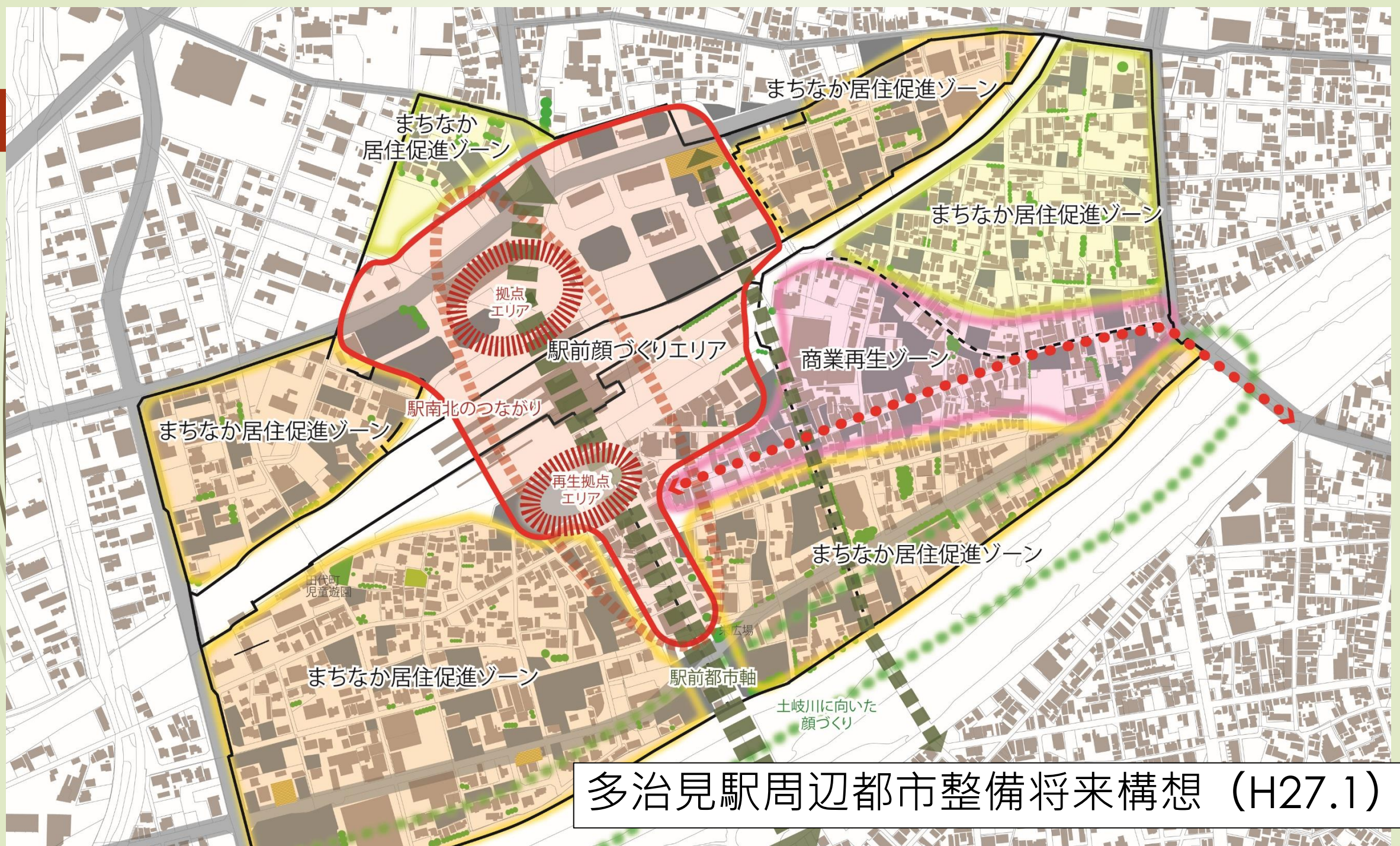
建設コスト、ランニングコスト

	利便性	防災拠点	経済性	合計
駅北隣接地	45	18.5	30	<u>93.5</u>
現本庁舎敷地	33	14	21	68

市庁舎に求められるもの

1. 利便性

- i. **これからの「まちづくり」**を考え、都市機能をどこに置くか
 - a. 中央部市街地エリア（駅周辺地区）
〔都市計画マスタープラン〕
 - b. 都市機能誘導区域〔立地適正化計画〕
- ii. 市内の**どこからも（誰でも）行きやすい**場所



多治見駅周辺都市整備将来構想 (H27.1)



多治見駅（JR中央線・太多線）

南



北



多治見駅 (東鉄バス・ききょうバス)



駐車場の確保

- ➡ 庁舎の近隣に
約 2 5 0 台の
立体駐車場を予定



※写真は駅北立体駐車場

市庁舎に求められるもの

2. 防災拠点性

命と生活を守るため、迅速な復旧対応が必要

1. 災害時のアクセス

- 国道19号からのアクセス（外部からの復旧支援）

2. 拠点としての安全性

- 土砂災害（土石流・急傾斜地）警戒区域、特別警戒区域



土砂災害 ハザードマップ



黄...土砂災害警戒区域
赤...土砂災害特別警戒区域



市庁舎に求められるもの

3. 経済性

建設や維持運営の**費用を抑える**

1. 建設費用

2. 維持運営費用

駅北庁舎隣接地の場合、現本庁舎敷地と比べて、

- i. 駐車場の費用が必要（1,400万円）
- ii. 庁舎分散化の解消により、費用を削減（△2,590万円）

建設費用

駅北庁舎隣接地

■ 設計調査費	1.4億円
■ 解体費	2.8億円
■ 駐車場建設費	4.5億円
■ 建設関係費	41.5億円
■ <u>その他経費</u>	<u>1.6億円</u>

51.8億円

現本庁舎敷地

● 設計調査費	1.4億円
● 解体費	2.8億円
● 仮設駐車場費	0.1億円
● <u>建設関係費</u>	<u>51.7億円</u>

56.0億円

▲ 4.2 億円

スケジュール

■建設地の決定後

令和2年度

基本構想

令和3年度

基本設計・実施設計

令和4年度

土壌汚染調査・発掘調査

令和4・5年度

建築工事

令和5年度末

竣工

■令和6年度当初 供用開始

建設地の決定に向けて

1. 【現在】最終候補地の選定
 - パブリック・コメント手続など、幅広く意見を伺う
2. 方針の決定
3. **【最終決定】市議会の議決により決まります**
(2/3特別多数決)
 - 令和2年3月議会への提案を予定しています

ご清聴ありがとうございました